

授業科目	紛争管理論演習
演習題目	対話による合意形成と紛争解決
担当教員	入江秀晃
授業の目的	自分が納得できる、相手も納得しているという状況は、どのようにすれば実現できるのか。ある状況において、フェアであるとはどういうことか。人が人を支援する状況における倫理とは何か。……などを考えます。現実の社会制度は実際のところ何がどう動いているのか。どこをどう変えたらそれが良くなるのか。……などを動きながら考えます。いわゆるアクティブラーニングということになりますが、活動・実践を通じた関わりの中から、社会・集団・自分自身について学ぶこともゼミナル活動の中心的な目的と位置づけています。ゼミ論文執筆は任意としますが、希望者は歓迎しますので、ゼミ応募の際に意欲のある人は明記してください。
履修条件	コミュニケーションを考える場面は多いと思います。コミュニケーションに得意という意識はなくて大丈夫です。モヤモヤ（感じ・考え）とエイヤ（行動する）を行ったり来たりできる方、ぜひ来て下さい。
教科書・参考書	参加学生と相談の上決定します。 履修に当たっては、教員が書いた「企業法務のための調停技法講座」(https://mediation-labo.jp/JCA_2023_mediationskills.pdf)については、見ておいていただきたいです（読んでなくていい）。
授業の計画・内容	2025年度は、グループに分かれて、高校での出前ワークショップ、学童児童向けの出前ワークショップ、ADR 機関・面会交流支援団体の取材などの調査研究を行いました。2026年度は未定ですが、参加者と相談の上決定します。
成績評価の方法	授業への参加、貢献度によって評価します。